

北部粗大ごみ受入施設粗大ごみ危険物除去等業務委託仕様書

1 業務内容等

(1) 業務内容

ア 搬入された粗大ごみの点検を行う。

(危険物「プロパンガスボンベ・ライター等爆発の恐れのある物」や処理困難物「バッテリー・消火器等、市での処理が困難なもの」の除去)

イ 搬入された粗大ごみを発注者の指定する項目で分別する。

ウ 搬入車両の誘導、案内等を行う。

エ 特定家庭用機器廃棄物(家電4品目)搬入時の家電リサイクル券の検収を行う。

オ その他発注者の指示する事項(別紙のとおり。)

(2) 従事者休憩用コンテナハウスの設置

ア 床面積3坪～4坪程度を施設内に設置する。

イ コンテナハウスの使用料、搬入及び搬出に必要な運搬代は受注者の負担とする。

2 履行場所

北部粗大ごみ受入施設 相模原市緑区下九沢2083番地1

3 予定数量

(1) 業務における従事者の予定数量(人数)は、次のとおりとする。

危険物除去等業務従事者 延べ 1,244人

(2) 予定数量は、契約期間を通しての予定のため、実際の発注数量との間に差異が生じることがある。

4 業務期間

令和7年6月1日から令和8年3月31日まで

5 業務日

業務日は、日曜日並びに発注者の指定した日を除いた日とする(別紙「予定表」参照)。ただし、別に発注者が指定した場合は、この限りではない。

6 業務時間

業務時間は、午前8時30分から午後5時までのうち7時間30分とする。ただし、上記以外に業務を行う必要が生じた場合は、発注者と受注者が協議し、業務時間を変更することができる。

7 経費の負担区分等

(1) 発注者が負担する経費は次のとおりとする。

業務に必要な器具

(2) 受注者が負担する経費は次のとおりとする。

- ア 従事者が着用する作業衣その他衣類等
- イ その他上記以外で業務に必要とするもの

8 従事者に関する事項

(1) 従事者が病気、事故その他の理由により業務に従事できない場合、受注者は交代要員を確保し、業務遂行に支障をきたさないようにするものとする。

(2) 従事者が業務に関して障害等を負っても、発注者は一切の責任を負わないものとする。

(3) 従事者の遵守事項

ア 従事者は、粗大ごみの搬入その他関係する事項について、発注者の指示に従うものとする。

イ 業務上、危険物を取り扱うことから、常に安全性に配慮し、火気等に十分注意するものとする。

ウ 粗大ごみの飛散等により粗大ごみ搬入車の通行等に支障とならないよう十分注意するものとする。

エ 作業衣は、常に清潔なものとし安全靴及びヘルメットを着用するものとする。

オ 非常出入口付近に関し、避難誘導口を確保するため、搬入された粗大ごみその他関係物品を置かないよう留意するものとする。

9 法令上の責任

受注者は、業務処理に当たる受注者の従業員に対する雇用者及び使用者として、労働関係法令によるすべての責任を負うものとする。

10 提出書類

(1) 受注者は、契約締結後、速やかに従事者の名簿を提出すること。また従事者に変更があったときも同様とする。

(2) 受注者は、毎月の業務終了後、当該月にかかる業務完了報告書を遅滞なく発注者に提出すること。

11 環境への配慮

(1) 「相模原市環境方針」の趣旨を踏まえ、業務を行なうこと。

(2) 発注者への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。

(3) 使用車両については、アイドリングストップの実施を徹底すること。

(4) 業務実施に伴って発生するごみの減量化・資源化及び適正処理を図ること。

以 上

(別紙)

北部粗大ごみ受入施設粗大ごみ危険物除去等業務委託
仕様書「1－(1)－オ」その他発注者の指示する事項

- 1 搬入車両内からの荷物の搬出(ただし、搬入者からの要請があり、かつ搬入者の車両への損害の免責の同意が取れた場合に限る。)
- 2 受入施設内の整備、整理整頓
- 3 受入施設の施錠等日常管理
- 4 搬入申請書に虚偽の申請をしている恐れがある搬入があった場合には、速やかに発注者に連絡をする。
- 5 可燃粗大ごみ、不燃粗大ごみ、ふとん、ベッドマット、コンクリート製品ごみ等の分別
- 6 資源化できる金属類ごみの分別及び発注者が用意する配送用コンテナへの当該金属類ごみの積み込み
- 7 資源化できる羽毛ふとんの分別及び発注者が用意するかご台車への当該羽毛ふとんの積み込み